

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
大宮南中学校



学校教育目標 輝く個性 夢きり

校訓 ~きれいな学校 光る汗~

今年度は、さいたま市教育委員会の研究委嘱を受けて、特別活動を中心として「たくましい南中生を育てている指導方法の工夫と改善」に取り組んでいます。この一環として、

- 1 全生徒が、青少年赤十字の一員として貧困や飢餓をなくす取組を推進しています。
- 2 障がいのある方への理解やジェンダー平等に取り組み、差別のない社会の実現を目指しています。



■所在地：さいたま市大宮区天沼町2-362 ■電話：048-641-1142
■FAX：048-641-5356 ■交通：JRさいたま新都心駅徒歩7分

01 青少年赤十字加盟校として



日本赤十字社の青少年赤十字（JRC）に加盟して20年以上となります。生徒会の委員会活動においても、JRC委員会があり、



の中で貧困や飢餓をなくすための取組を行っています。具体的には、「①エコキャップを回収し、ワクチンを寄贈するための活動」「②正門前やさいたま新都心駅周辺での街頭募金を行い寄付する活動」「③企業がやっている、着なくなった子供服を回収し世界の難民に送るプロジェクトに参加」などを全校に呼びかけて実施しています。これらの活動を継続して行っていくことで、SDGsの目標1「貧困をなくそう」、目標2「飢餓をゼロに」に貢献していきます。

02 差別のない社会を目指して



本校では、平成29年度から「ふれ愛講演会」において障がいのある方への理解やジェンダー平等について、学んでいます。令和元年度は「障害のあるなしに関わらずお互いを認



め合う社会をつくるには」という演題で、病気により首から下が麻痺してしまった方にご講演いただき、困難な状況でも目標を見付けて努力を続ける大切さを学びました。また、首から下が動かせない方への上着着用補助の実習をしたりと障害のある方へのサポートの仕方などを学んだりすることができて、障害のある方を支援する技能についても理解を深めることができました。今後も、講演会等を継続して行っていくことで、SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標10「人や国の不平等をなくそう」に寄与していきたいと考えています。

03 持続可能な社会の実現を身近に感じて



令和2年度には、総合的な学習の時間の内容として、「SDGs まちづくりプロジェクト in さいたま」と題し、ねらいとして、「①さいたま市の抱える現状を知り、暮らしや



すくより魅力のある地域にしていくために、どのような実践可能なプロジェクトが必要かを考える」「②上記の取組とSDGsの17の目標とを結び付けて考えて、身の周りから世界へつながる視点をもつようにする」の2つを設定し、学習に取り組みました。さいたま市の現状から課題を把握し、課題を解決するためのプロジェクトを策定、掲示におけるまとめ・発表を行い、持続可能な社会への理解を深めることができました。また、SDGsの理解を深めるため、独自のカルタを作成し、小学校にも提供して活用を図りました。